

社会福祉法人愛全会役員及び評議員の報酬に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人愛全会（以下「この法人」という。）の定款（以下「定款」という。）第8条及び第22条の規定に基づき、評議員及び役員報酬に關し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 常勤役員とは、役員のうち、この法人を主たる勤務場所とする者をいい、常勤役員のうち、理事は常勤理事及び監事は常勤監事という。
- (3) 非常勤役員とは、役員のうち、常勤役員以外の者をいう。
- (4) 評議員とは、定款第5条に基づき置かれる者をいう。
- (5) 報酬とは、社会福祉法第45条の35第1項で定める報酬、賞与その他の職務執行の対価として受ける財産上の利益であって、その名称の如何を問わない

(役員報酬)

第3条 この法人は、役員に対する報酬を、定款第22条の規定に基づき、次の表で定めた金額を支給することができる。

ただし、対面やテレビ会議等による開催に限るものとし、決議の省略により開催する会議等は支給の対象としない。

対象者	報酬額
理事長	年間総額1,600万円以内
常勤理事で使用者としての立場を有する者	支給しない
非常勤理事	日額10,000円
非常勤監事	日額10,000円

(評議員報酬)

第4条 この法人は、評議員に対する報酬を、定款第8条の規定に基づき、評議員会出席1日当たり10,000円を支給することができる。

ただし、対面やテレビ会議等による開催に限るものとし、決議の省略により開催する会議等は支給の対象としない。

(報酬等の支給方法)

第5条 報酬は、評議員会、理事会、監査に出席の都度、通貨をもって本人に支給する。

ただし、本人の同意を得れば本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができるものとする。

- 2 報酬等は、法令の定めるところによる控除すべき金額及び本人から申し出のあった立替金等を控除して支給する。

(公表)

第6条 この法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、評議員会の決議によって行なう。

附 則

この規程は、平成29年6月22日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年6月25日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。